

# 江戸時代の生活と不定時法

Life in the Edo period (1603-1868)  
and the seasonal time system

1598年、朝鮮国（一説にはスペイン人）より徳川家康へ献上された時計が破損したため、初代津田助左衛門がそれを修理し、同時にこれを見本として一台造って献上したのが、日本の時計製作のはじまりとされています。

また、夜明けと日暮れが生活の重要な節目だった江戸時代、時計を持たない庶民はお寺の鐘やお城の鐘で時刻を知りました。旅の途中には、和紙で作った簡便携帶用日時計が活躍しました。



浅草寺の鐘

# 日本への時計の伝来

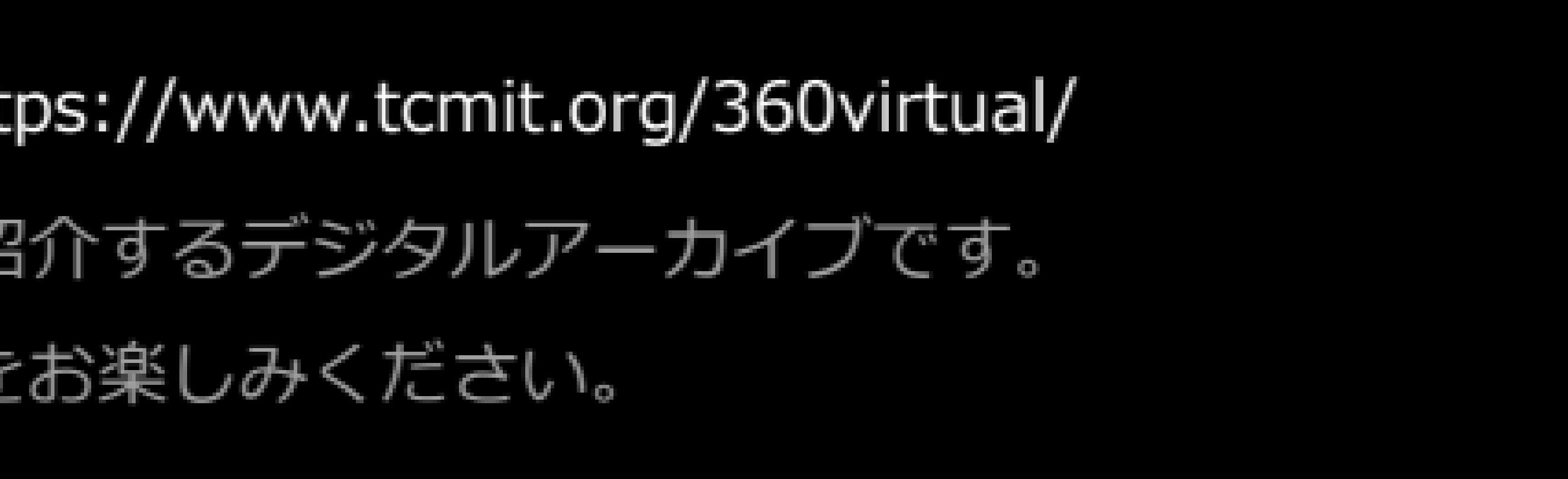
## Introduction of timepieces to Japan

1551年フランシスコ・ザビエルが周防地方（山口県）の大名だった大内義隆に献上したものが、日本に時計が持ち込まれた最初とされています。また、1612年スペイン国王フェリペ3世から徳川家康へ献上された「枕時計」が日本に現存する最古の時計です。



家康公の洋時計（久能山東照宮所蔵）

館内企画展アーカイブ  
バーチャル展示室  
THE VIRTUAL  
EXHIBITION ROOM 360



バーチャル展示室360

https://www.tcmit.org/360virtual/

トヨタ産業技術記念館

これまでにトヨタ産業技術記念館で開催した企画展を紹介するデジタルアーカイブです。

当サイトに掲載の記事・写真の無断転載を禁じます。

360度VRコンテンツで、臨場感溢れるバーチャル展示をお楽しみください。

Copyright(C) Toyota Commemorative Museum of Industry and Technology All rights reserved.

トヨタ産業技術記念館

https://www.tcmit.org/